

特 485

485

久志卓勤著
日本小地史
完

特43
485

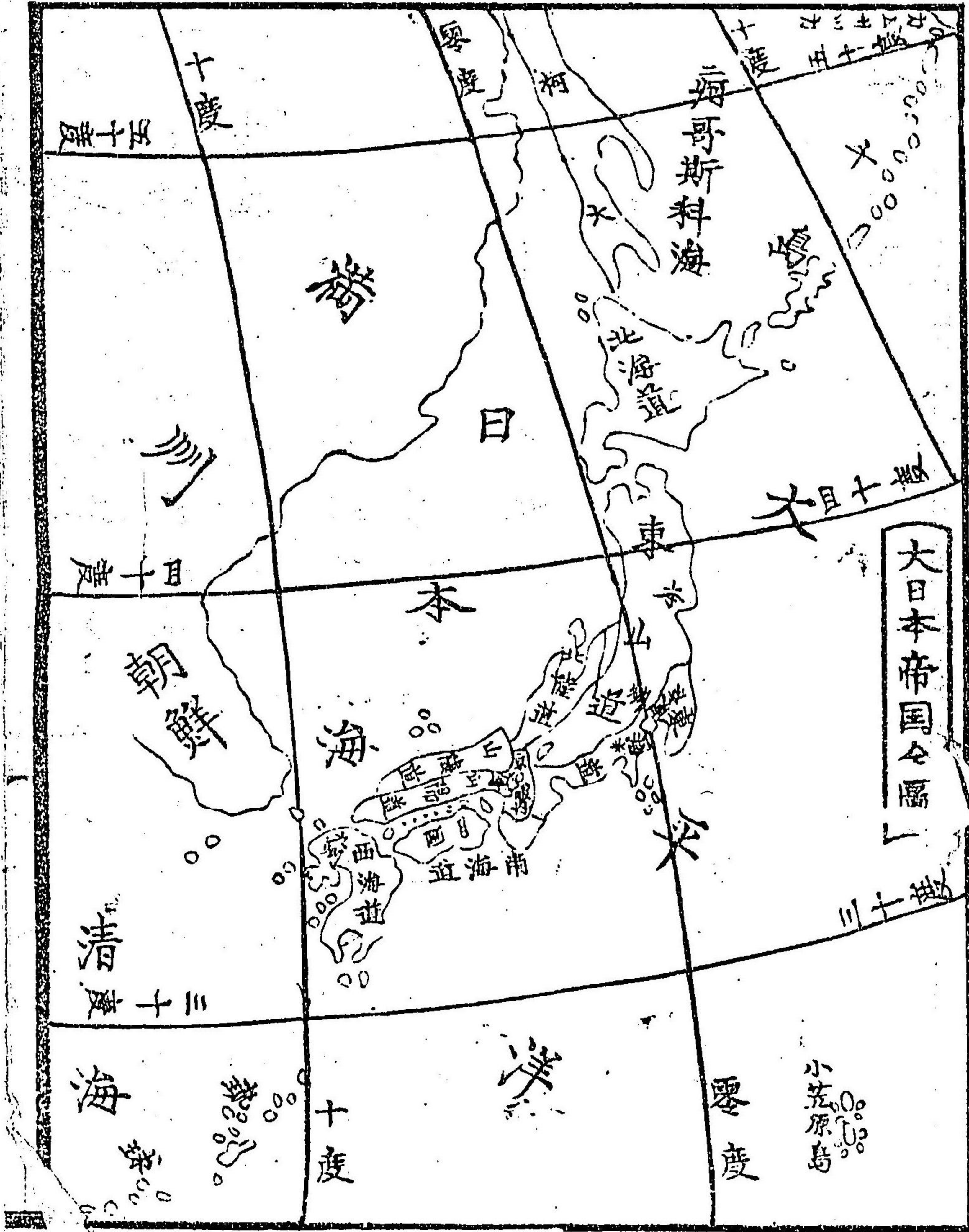
許免權版

久志卓動著

日本小地史
完

發兌書肆

開明堂
文智堂



日本小地史

南越 久志 卓動 速

綜論

我大日本帝國ハ、亞細亞ノ東部ニ位シテ、四面ニ海ヲ環ラシ、自ラ一國ヲナス、北緯二十四度ヨリ五十一度ニ至リ、東經十七度ヨリ、西經十七度ニ至ル、東南ハ大平洋ニ面シ、西南ハ清海ニ臨ミ、西北ハ日本海ヲ隔テ、朝鮮、滿洲ニ對ス、北ハ柯太東、北ハ堪察加ト、一海峡ヲ以テ界ス

本州三大島及数千ノ島嶼ヲ以テ一國ヲナス地
形ハ東北ヨリ斜ニ西南ニ延キテ長サ凡七百里
幅廣キハ六十里狭キハ三十里ニシテ面積凡二
万五千方里人口凡三千五百万アリ
本州ハ中部ニ位スル最大島ニシテ四國九州ハ
西南ニアル二大島ナリ北ニ位スル一大島ハ北
海道ニシテ其他ノ島嶼ハ壹岐對馬隱岐佐渡千
島琉球等ナリ

全國ヲ大別シテ畿内ハ道トシ又之ヲ別ツテハ
十四國トシ更ニ之ヲ小分シテ七百廿二郡ト区

全邦ヲ三ニ分子其二ハ山岳其一ハ平地ナリ氣
候ハ寒暖中和地質ハ沃饒ニシテ穀菜能ク熟ス
故ニ古昔ハ豊葦原瑞穂國ト称ス是ノ如キ美國
ニ生ル、人ハ實ニ大幸福ト云フベシ

道國

畿内ハ本州ノ西南ニアリ東南ハ東山東海南海
道ニ接シ西北ハ山陰山陽道ニ連リ内海ニ臨ム
山城大和河内和泉摂津ノ五國アリ

東海道ハ本州ノ東南ニアリ東南ハ大平洋ニ面
シ西南ハ畿内南海道ニ連リ北ハ東山道ニ接ス

伊賀、伊勢、志摩、尾張、參河、遠江、駿河、甲斐、伊豆、相模、武藏、安房、上總、下總、常陸ノ十五国アリ

東山道ハ本州ノ西ヨリ中央ヲ貫キ、東北ニ亘ル、水ハ大平洋ニ面シ、南ハ東海道ニ接ス、西南隅ハ畿内、山陰道ニ連リ、西北ハ北陸道ニ界シ、日本海

ニ臨ム、近江、美濃、飛彈、信濃、上野、下野、磐城、岩代、陸前、陸中、陸奥、羽前、羽後ノ十三国アリ

北陸道ハ本州ノ北ニアリ、東南ハ東山道ニ連リ、西南隅ハ山陰道ニ界シ、西北ハ日本海ニ面ス、若狹、越前、加賀、能登、越中、越後、佐渡ノ七国アリ

山陰道ハ本州ノ西ニ位シ、東ハ畿内、北陸、東山道ニ接シ、南西ハ山陽道ニ連リ、北ハ日本海ニ臨ム、丹波、丹後、但馬、因幡、伯耆、出雲、石見、隱岐ノ八国アリ

山陽道ハ本州ノ西ニ在リ、東ハ畿内ニ連リ、南ハ内海ヲ隔テ、南海道ニ對ス、西ハ一ノ小海峡ヲ以テ、西海道ニ界シ、北ハ山陰道ニ接ス、播磨、美作、備前、備中、備後、安藝、周防、長門ノ八国アリ

南海道ハ我国ノ南ニアリ、東南ハ大平洋ニ面シ、西ハ海ヲ隔テ、西海道ニ對シ、北ハ内海ニ臨ム、紀

伊淡路阿波讚岐伊豫土佐ノ六国アリ
西海道ハ吾邦ノ西南ニ位シ東南ハ大平洋ニ面
シ西ハ清海ニ臨ミ北ハ日本海内海ヲ帶ベリ筑
前筑後豊前豊後肥前肥後日向大隅薩摩壹岐對
馬ハ十一国アリ琉球之ニ屬ス
北海道ハ我国ノ北ニ在リ東南ハ大平洋ニ面シ
西ハ日本海ニ臨ミ北ハ柯太東北ハ堪察加ト一
海峡ヲ以テ我皇国ト魯西亞ノ境界ヲ成ス渡島
後志石狩天塩北見膽振日高十勝釧路根室千島
ノ十一国アリ

山

我国ノ山脉ハ北海道ヨリ起リ東山道ニ亘リ美
濃ニ至リテ一大支脈ヲ生シ本脈ハ山陰山陽ノ
間ヲ過キ九州ニ入リテ盡キ支脈ハ伊勢大和紀
伊ヨリ四国ニ赴キテ止ム

山脉ノ中駿河ノ富士山最高シ其他ノ高山ハ加
賀ノ白山陸奥ノ岩城石狩ノ石狩伯耆ノ大山大
和ノ大峯肥後ノ阿蘇山等ナリ其余山岳甚多シ
河

下總ノ利根川越後ノ信濃川尾張ノ木曾川是ヲ

吾邦ノ三大川ト云フ之ニ亞夕モノハ遠江ノ天
龍陸中ノ北上石狩ノ石狩十勝ノ十勝石見ノ郷
阿波ノ吉野筑後ノ筑後川等ナリ

湖

湖ノ最大ナルモノハ近江ノ琵琶湖ニシテ其他
常陸ノ霞浦羽後ノ八郎瀉岩代ノ猪苗代信濃ノ
諏訪湖出雲ノ松江等ナリ

港

武藏ノ横濱、摂津ノ神戸、越後ノ新瀉、肥前ノ長崎
度島ノ函館之ヲ五港ト云フ、外国商船ノ輻湊ス

ル所ナリ、其外武藏ノ品川、摂津ノ大坂、陸前ノ石
巻、越前ノ敦賀、長門ノ下関等ハ有名ナル港ナリ
三景

陸前ノ松島、丹後ノ天橋立、及安藝ノ嚴島ナリ

都市

武藏ノ東京ハ皇城、官省アリテ、全国政治ノ出ツ
ル所ナリ、山城ノ京都ハ延暦年間ヨリ明治元年
ニ至ルマテ、一千余年ノ皇都ニシテ、摂津ノ大坂
ハ物品輻湊、商賈繁昌ノ地ナリ、之ヲ三府ト云フ、
是ニ亞夕モノハ尾張ノ名古屋、加賀ノ金沢、陸前

ノ仙臺、安藝ノ廣島、肥後ノ熊本等ナリ

氣候

畿内、東海、山陽道ハ南海ニ面フヲ以テ温和ナリ、
東山、北陸、山陰道ハ北海ニ臨ムヲ以テ寒サ強ク、
雪多シ、南海、西海道ハ南海中ニ在ルヲ以テ暖多
ク寒少シ、北海道ハ北海中ニ位シ、寒氣酷烈ナリ

風俗

大古ハ詳ナラズ、中古唐ニ通スルニ及ビテ、畧其
制ニ効フ、近世歐米ニ交リシヨリ、衣住学藝漸ク
其制ニ擬シ、風習從ヒテ變遷ス

国体

吾国体ハ天祖天照皇大神ノ皇胤ヲ以テ、万世一
系ノ皇統トシ、君臣ノ分、永世易ハルコトナシ、是
外国ノ及ブ能ハザル所以ナリ、故ニ日本人民タ
ルモノハ、愛国心ヲ篤クシ、自治心ヲ深クシ、天地
ノ公道ヲ本トシ、不義不忠ノ念ヲ抑ヘ、国家ノ安
寧ヲ保護スル為ニ、身命ヲ惜ム可ラス

政体

吾邦ノ政体ハ建国ヨリ近年ニ至ルマテ、立君獨
裁タリ、明治八年始テ元老大審ノ兩院ヲ置キ、其

後國會府縣會等ヲ開キ、以テ立憲政体トナス。嗚呼、今ヨリ、君民共ニ精ヲ勵マシ、治ヲ求メ、孜々トシテ、怠ラズンハ、歐米ニ駕スルコト近ニ在ラン。

小史

天祖天照皇大神五世ノ孫皇祖神武天皇ハ全国ヲ一統シ、大和ニ即位ス、此年ヲ以テ紀元元年トス。實ニ今ヲ距ル二千五百三十余年ナリ、天皇ハ郡縣ノ制ヲ以テ、天下ヲ治メ、国郡ニ造長ヲ置ク、綏靖安寧、懿德孝昭、孝安、孝靈、孝元、開化天皇ノ間、以爲ニシテ治マル、崇神天皇ハ神ヲ敬ヒ、祖ヲ尊

ビ、始テ將軍ヲ置ク、垂仁天皇ハ殉死ヲ禁ス、景行天皇ハ日本武皇子ニ命シ、熊襲及東夷ヲ討タシム、成務天皇ハ国郡ヲ界ス、仲哀天皇崩シテ、神功皇后ハ親、三韓ヲ征ス、應神天皇ノ朝ニ百濟ノ王仁來リ、文学始テ起ル、仁徳天皇ハ躬節儉ヲ行ヒ、民ヲ恤ミ、曰ク君ヲ立ツルハ、民ノ爲ナリト履仲及正允恭、安康、雄略、清寧、顯宗、仁賢天皇ヲ歷テ、武烈天皇ハ法律ヲ嚴酷ニシ、無辜ヲ殺ス、繼體、安閑、天皇ヲ經テ、宣化天皇ニ至リ、諸国ニ屯倉ヲ置キ、凶年ニ備フ、欽明天皇ノ朝ニ佛法傳來シ、之ニ加

フルニ、新羅跋扈シ、兵ヲ海外ニ出ス敏達、用明天
皇ヲ歴テ、崇峻天皇ハ、蘇我馬子ニ弑セラル、推古
天皇ノ朝ニ、使ヲ隨ニ遣ス、舒明天皇ノ后、皇極天
皇ノ世ニ、蘇我蝦夷、其子入鹿、皇室ヲ輕蔑ス、天智
帝、藤原鎌足等ト謀リ、之ヲ誅ス、孝德天皇ハ、始テ
年号ヲ立テ、大化元年ト云フ、神武帝即位ノ年ヨ
リ、一千三百五年ナリ、八省百官ヲ設ケ、文武ノ官
ヲ分テ、國ニ司ヲ置キ、軍團ヲ備フ、是ニ於テ、制度
大ニ備ハル、皇極帝再ヒ位ニ即キ、齊明天皇ト称
ス、天智天皇ハ、神武帝以來ノ弊習ヲ改メ、制度ヲ

振ハシ、中興ス、弘文天皇ヲ歴テ、天武天皇ハ、國司
ヲ國守ニ改ム、持統、文武、元明、元正、聖武、孝謙、淳仁
天皇ヲ經テ、孝謙帝再ヒ即位シ、称徳天皇ト称ス、
天皇ハ、弓削道鏡ヲ寵愛シ、終ニ位ヲ禪ラントス、
和氣清麿、宇佐大神ノ教ヲ奏シテ止ム、光仁天皇
ヲ經テ、桓武天皇ハ、都ヲ山城ニ遷ス、淡海三船ハ
神武帝以來ノ列聖ノ謚号ヲ奉ル、平城、嵯峨、淳和、
仁明天皇ヲ經テ、文徳天皇ニ至リ、藤原氏ノ勢甚
盛ナリ、是ヨリ、政其手ヨリ出ツ、清和、陽成、光孝、宇
多天皇ヲ歴テ、醍醐天皇ハ、藤原時平ノ諛ヲ信シ、

菅原道真ヲ貶ス、天下之夫冤トス、朱雀天皇ノ世
二平將門、藤原純友等、乱ヲ起ス、村上冷泉、因融、花
山、一條、三條、後一條、後朱雀天皇ヲ經テ、後冷泉天
皇ノ世ニ、安倍賴時、其子貞任、乱ヲナス、源賴義之
ヲ征ス、後三條天皇ハ親ヲ聽斷シ、藤原氏手ヲ
斂ム、白河、堀河、鳥羽、崇徳、近衛天皇ノ間、国ノ制度
大ニ弛ビ、諸国ノ武人、私ニ源平二氏ニ屬シ、国守
ノ令、殆ト行ハレズ、後白河天皇ノ朝ニ、崇徳上皇
兵ヲ擧ク、天皇之ヲ征シ、上皇ヲ讚岐ニ遷ス、是ヨ
リ、国家大ニ乱ル、二條、六條、高倉天皇ノ間、平清盛

ノ勢、甚熾ナリ、藤原氏大ニ衰フ、安徳天皇ノ世ニ、
源賴朝兵ヲ擧ク、諸国ノ源氏之ニ應ス、後鳥羽天
皇ノ朝ニ、賴朝平家ヲ滅シ、国内ヲ平ケ、霸府ヲ相
摸ニ開キ、諸国ニ守護地頭ヲ置キ、以テ国政ヲ執
ル、是ニ於テ、政權全ク武門ニ歸ス、其後守護ノ子
孫、其地ヲ世領スル者アリ、漸ク封建ノ基ヲ成ス、
土御門、順徳天皇ノ間、北条氏政ヲ執リ、源氏亡ブ、
仲恭天皇ノ世ニ、北条義時、三上皇ヲ遷ス、是ヨリ
北条氏、政權ヲ專ニス、後堀河、四条、後嵯峨、後深草
天皇ヲ歷テ、龜山天皇ニ至リ、元使來ル、北条時宗

之ヲ逐還ス、後宇多天皇ノ朝ニ、又元兵來リ寇ス、
時宗之ヲ討チ平ケ、皇光ヲ耀ス、伏見後伏見後二
条花園天皇ヲ歷テ、後醍醐天皇ハ勤王ノ師ヲ募
リ、楠新田氏ホノ兵ヲ以テ北条氏ヲ亡ボシ、政權
皇家ニ復ス、幾トナク、足利尊氏反シ、後深草帝ノ
胤ヲ立テ、之ヲ北朝トス、天皇大和ニ拠ル、之ヲ南
朝トス、是ヨリ五十余年間、南北互ニ戰爭ス、後村
上天皇ヲ歷テ、後龜山天皇ハ、位ヲ後小松天皇ニ
讓リ、南北合シテ一トナレリ、然レテ、政權全ク足
利氏ニ在リ、足利氏ハ其功臣ヲ封シ、全ク封建ノ

制ヲ成セリ、其后數世ヲ經テ、諸侯争ヒ起リ、戰國
トナリ、政令海内ニ行ハレズ、稱光後花園後土御
門後柏原後奈良天皇ノ間、寧歲ナシ、正親町天皇
ノ世ニ、織田信長起リ、足利氏ニ代ル、功業成ラズ
シテ、其臣明智光秀ニ弑セララル、豊臣秀吉尋テ興
リ、海内ヲ平ク、後陽成天皇ノ時ニ、秀吉朝鮮ヲ討
チ、皇威ヲ海外ニ耀シ、其子ニ傳ヘテ亡ブ、終ニ徳
川家康天下ヲ一統ス、是ヨリ二百五十余年、国内
大ニ治マル、後水尾明正後光明後西院靈元東山
中御門櫻町桃園後櫻町後桃園光格仁孝天皇ヲ

歴テ、孝明天皇ニ至リ、外舶來航シ、海内騷然タリ、
終ニ歐米ト交ヲ結ビ、貿易ヲ開ク、是ニ於テ、各藩
有志ノ士、皇政復古ノ議ヲ主張ス、今上天皇ニ至
リ、徳川氏政ヲ朝廷ニ奉還ス、實ニ頼朝覇府ヲ開
キシヨリ、六百八十余年ニシテ、復皇政ノ盛ナル
ヲ視ル、是ヨリ、天皇親政ヲ行ヒ、都ヲ武藏ニ遷シ、
東京ト称ス、諸藩ヲ廢シ、再ヒ郡縣ノ制ニ復シ、官
省ヲ設ケ、府ニハ知事、縣ニハ令ヲ置キ、万国ノ良
法ヲ撰ビ、以テ天下ヲ統治ス、嗚呼隆ナル哉
物産ハ穀物、野菜、衣料、木材、鑛屬、獸鳥、魚介類等也

日本小地史畢

校推免許明治十三年七月三日
同年七月出版

定價五錢

著兼出版

石川縣平民

久志 卓動

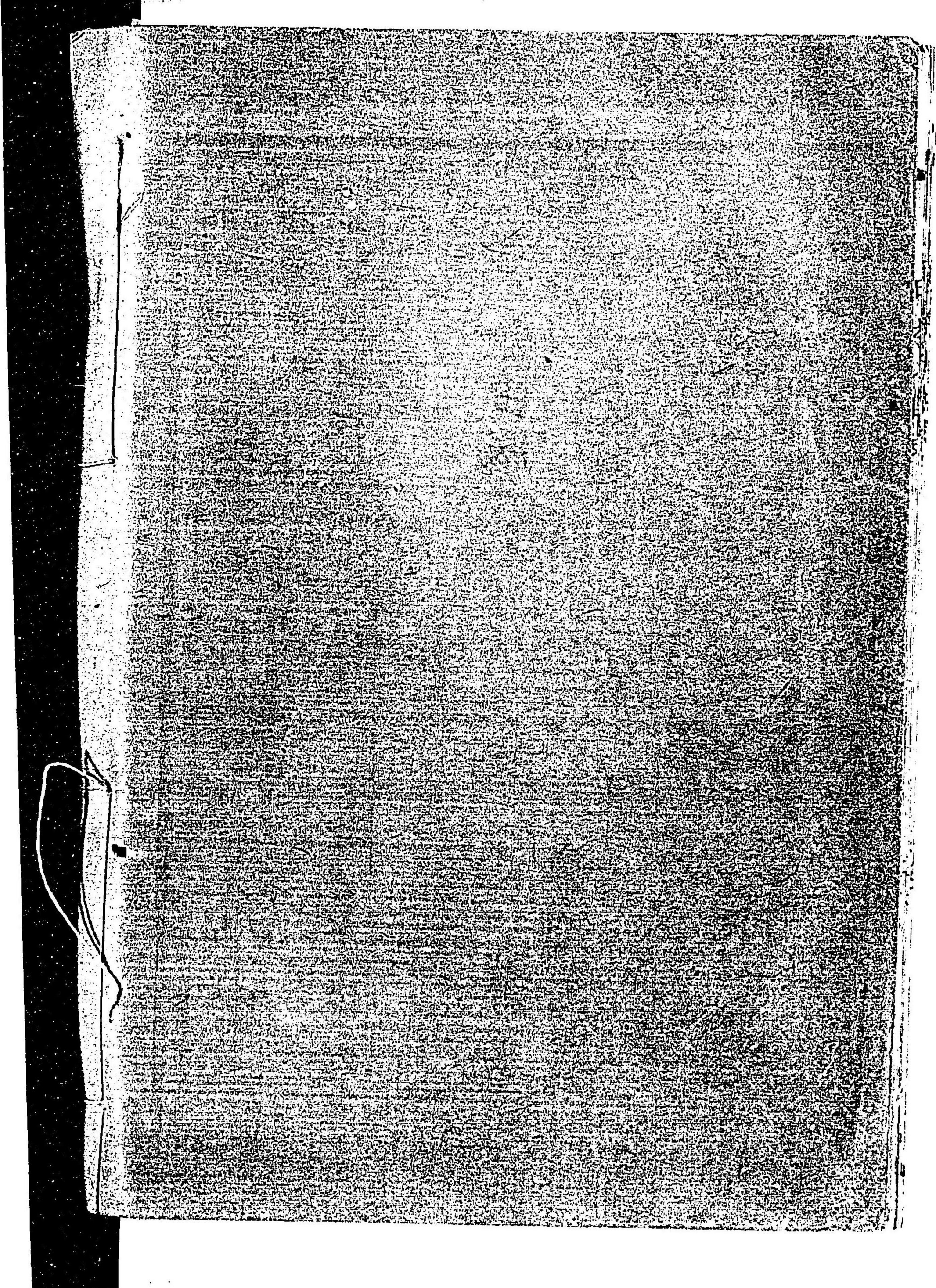
越前国丹生郡国山村

福井片町

發兌

全

開智堂
文明堂



022766-000-8

特43-485

日本小地史

久志 卓動/著

M12

ADB-0562

